

全日本空手道選手権で好成績

4月9日(日)、北九州市総合体育館で『第15回全日本空手道選手権大会』が開催され、町内で活動している日本実践空手道連盟極誠会の子どもたちが出場し、2人の選手が入賞しました。

また、栗原選手は今年だけで全日本大会に4回出場し、準優勝2回、3位1回の成績を残し、決勝戦では、身長10cm以上、体重20kg以上差がある相手と互角に戦い、延長戦の末、惜しくも判定で負けました。

【入賞選手】	くりはら とうま 栗原 橙真	準優勝	小学2年生
	まつたけ やまと 松竹 大和	3位	小学4年生



▲準優勝した栗原選手と、河野代表

人権擁護委員は、皆さんの問題解決をお手伝い

全国人権擁護委員連合会は、人権擁護委員法が施行された6月1日を「人権擁護委員の日」と定めています。

町では、6月1日(木)に特設人権相談所を開設し、人権擁護委員が人権に係る相談を受け付けました。

◆人権擁護委員とは…

皆さんからの人権相談を受けて問題解決のお手伝いをしたり、人権について関心をもってもらえるような啓発活動を行ったりしています。



▲特設人権相談所で相談を受ける人権擁護委員

社会教育委員新規委嘱

4月1日付けで、新たに4人の方が社会教育委員として教育委員会から委嘱されました。

社会教育委員は、町の社会教育の実情を知り、地域住民と行政との間に立って住民の声を行政に反映するという役割があり、委員一人ひとりが独立して研究調査したり、教育委員会で意見を述べるすることができます。

現在、町では10人の社会教育委員が委嘱されており、社会教育振興にご尽力いただいています。

【新任者】	尾上 孝明(桜原小学校長)
	佐藤 雅美
	長澤 美保
	村山 美奈子

(五十音順・敬称略)



▲左から村山さん、長澤さん、佐藤さん、尾上校長

地産地消のお店「織りあぐり」オープン

県から地域経済牽引事業計画の承認を受けた森博多織が運営する工場(織りあぐり)が、5月27日(土)にオープンしました。

「織りあぐり」には、農産物直売所が併設され、朝採りの新鮮な野菜をはじめ、博多織を使った雑貨など幅広い商品が並んでいます。

この新業態で行う事業は、地域の特性を生かし高い付加価値を創出する取組として、町内における雇用の創出や地域経済の活性化につながると期待されています。

森社長は、「国土交通省と連携をし“道の駅”と言えるような施設にできるように、地元の活性化を図っていきます」と話しました。



▲オープンした「織りあぐり」



▲店内の様子

第2回福岡県障がい者スポーツ大会 町から2人出場

4月30日(日)、5月7日(日)、13日(土)に、第2回福岡県障がい者スポーツ大会が開催され、県内各地より約1,000人の参加があり、町からは2人が参加しました。

4月30日(日)では久留米総合スポーツセンターで開催された一般卓球競技(車いす)に木下裕也きのした ゆうやさんが出場され、2勝1敗という成績で入賞しました。

5月7日(日)では博多の森補助競技場で開催されたフライングディスク競技に宮崎稔也みやざき としやさんが出場され、大雨という悪天候の中、奮闘しましたが惜敗という結果となりました。



▲フライングディスクに出場した宮崎さん



▲卓球に出場した木下さん(右)